

会社があって自分があるのではなく、自分があって会社がある 複数の名刺を持って活動することで、自らのキャリアの幅を広げていく



磯村幸太氏 プロフィール

- ・ 1987年生まれ
- ・ 2011年大手メーカーに入社
- ・ 現在は経営企画兼社内コンサルティング業務に従事
- ・ 2017年IGUコンサルティング創業

仕事1の内容: 大手メーカー

仕事2の内容:

IGUコンサルティング代表社長

副業・兼業の目的

- ・ キャリアの幅を広げ自らの意思で人生の選択をしていくために、会社勤務だけではなく創業をすることを決めた。テレビ番組の『LIFE SHIFT』特集がきっかけとなった。
- ・ IGUコンサルティングでは、自身の人生のビジョンである「全ての働く人が今日の仕事を楽しみにしている社会に貢献する」ことを実現する手段の一つとして、個人向けキャリアコンサルティング事業や企業向け組織開発コンサルティング事業を行っている。
- ・ 2017年4月からは大学院でパラレルキャリアの研究を行っており、会社勤務、大学院での研究、経営者の3つの活動に取り組んでいる。
- ・ 複数の仕事を持つこと自体に価値を感じており、今後も常に複数の仕事を持ち続けていきたいと考えている。

副業・兼業のメリット

- ・ 会社があって自分があるのではなく、自分があって会社があるという考え方を持つことができるようになった。
- ・ 会社勤務の名刺ではできないような仕事も、経営者としての名刺を持つことでできるようになった。
- ・ 副業を通じて得たスキルは勤務先でも活用しており、社内の働き方改革の推進や、中間管理職向けのキャリアビジョン研修の企画運営などを行っている。

副業・兼業にあたって留意していること

- ・ 複数の仕事を持つことで困ったことは無い。
- ・ 副業のランニングコストを低く抑えているため、副業にかける時間の割合を柔軟に調整することができる。

「日本の医療のレベルを高め、頑張っている人が報われる社会を創りたい」 ビジョンの実現に向けて、さまざまな角度からアプローチを行う



原正彦氏 プロフィール

- ・ 2015年大阪大学大学院医学系研究科循環器内科学で学位取得
- ・ アメリカ心臓協会、アメリカ心臓病学会で若手研究員奨励賞を3年連続受賞
- ・ 経済産業省「ジャパン・ヘルスケアビジネスコンテスト2018」でグランプリ受賞

仕事1の内容: 医師(島根大学医学部等)

仕事2の内容:

日本臨床研究学会代表理事

仕事3の内容:

株式会社mediVR、株式会社Research Mind 代表取締役社長

副業・兼業の目的

- ・ 「日本の医療のレベルを高め、頑張っている人が報われる社会を創りたい」というビジョンの実現に向けて、マルチに活動を行っている。「二足の草鞋を履いている」と思われることもあるが、全ての活動がビジョンの実現に繋がっている。
- ・ アメリカの学会で高く評価された論文の内容がなかなか普及しなかったことから「アカデミックな活動のみでは、新しいことが患者にまで届かない」ことを実感し、自らビジネスをすることを決断した。
- ・ 株式会社mediVRでは、VR技術や人工知能技術などを用いて運動リハビリテーションを提供するプロダクトの開発を行っている。理学療法士が経験や感覚に基づいて行っていることを定量評価することで、個々の患者に適した運動リハビリテーションが提供できるようになる。

副業・兼業のメリット

- ・ 他分野の知識や経験を得ることが、イノベーション創出につながると考えている。ダイナミックに動いていくことで、世界が広がっていると感じる。
- ・ 複数の仕事を持つことでよりフレキシブルに、気分転換もしながら働くことができる。常に自分が楽しいと思えることをやって生きていきたい。

副業・兼業にあたって留意していること

- ・ 複数の仕事を持つことで困ったことは無い。
- ・ 複数の仕事を持つことに対して、「一つの仕事に真剣に取り組んでいない」など否定的な見方をする人が一定数いるため、他者からの批判を辛く感じる人には向いていないと思う。

東日本大震災の復興支援活動がきっかけとなり、地域活性化の取組をスタート 場所も内容もまったく異なる2つの仕事を持つことで広がる世界



佐藤功行氏 プロフィール

- ・ 2004年ロート製薬株式会社入社
- ・ 広域営業部のリーダーと広報・CSV推進部を社内兼業している
- ・ 2018年北海道浦幌町で株式会社BATON PLUSを創業

仕事1の内容:

ロート製薬株式会社 広域営業部
リーダー兼広報・CSV推進部

仕事2の内容:

株式会社BATON PLUS取締役

副業・兼業の目的

- ・ ロート製薬の社員として参加した東日本大震災の復興支援活動がきっかけとなり、地域活性化の取組を始めた。それまで地域活性化に特別関心を持つことは無かったが、関わるうちに地域で仕事をするものの魅力に惹かれていった。
- ・ その後、浦幌町の魅力発信と新事業創出を目指す「浦幌ワークキャンプ」に参加。そこで提案を行った林業の課題解決のための新規事業が浦幌町長にも認められ、2018年に株式会社BATON PLUSを創業。
- ・ 株式会社BATON PLUSでは、浦幌産カラマツやドマツの伐採から加工までを一気通貫して行う。企業人の目線で地場木材のブランディングを行うことで、林業の付加価値を向上することに挑戦する。
- ・ 場所も内容もまったく異なる仕事を2つ持っていること自体に価値があると考えており、今後も2つの仕事を続けていきたいと考えている。

副業・兼業のメリット

- ・ 創業期の企業に経営参画することで、リソースの限られた状態で自ら決断し動く経験を得ることができている。副業で得た経験は、本業にも生きてくる。
- ・ 2つの仕事を持つことで、より多様な人との繋がりを得ることができる。深く関わる地域が増えることは、親戚や第2の故郷が増えるような感覚でもある。
- ・ 場所も内容もまったく異なる仕事を持つことが、リフレッシュにもつながる。

副業・兼業にあたって留意していること

- ・ 副業を続けていくためにも、本業の仕事には支障が出ないように注意をしている。部下がいる管理職として副業を持つことの難しさも感じている。

働く女性が“私らしく”仕事をし続けるために 「自分と同じ悩みを持つ働く女性に身軽さを届けたい」という想いで起業



横山加代子氏 プロフィール

- ・ 1979年生まれ
- ・ 中小企業診断士
- ・ コンサルタント職としてIT企業で企業へのシステム導入を担当
- ・ 2014年第一子出産、仕事と育児を両立するワーキングマザー

仕事1の内容: ITコンサルタント(勤務)

仕事2の内容:

中小企業診断士(個人事業主)

仕事3の内容:

biz+u(ビズユー)代表(個人事業主)

副業・兼業の目的

- ・ ITコンサルタントと中小企業診断士の二つの仕事と子育てに取り組む中で、重い荷物に起因する肩こり・腰痛に悩まされていた。軽くて沢山入るリュックタイプ、ビジネス使用もでき、かつ女性が持ちたくなるデザイン…理想のバッグは、二年探しても見つからず「売っていないのであれば、自分で作ってしまおう」とビジネスを思い立った。「自分と同じ悩みを持つ働く女性に身軽さを届けたい」という想いで起業。2017年にクラウドファンディングを利用して資金調達を行い、事業をスタートした。
- ・ 「働く女性が自分らしく働くことが当たり前になる」というビジョンの実現に向けて、自分自身が“私らしく”働くことを体現し続けていきたい。

副業・兼業のメリット

- ・ 経営者として、日々自分の決断力や行動力が試されていると感じる。経営から得られるこうした力は、ITコンサルタントや中小企業診断士の仕事にも生きている。
- ・ 複数の仕事を持つことで、一つの仕事では出会えなかった人との出会いを得られる。
- ・ 複数の収入源を得ることができた。

副業・兼業にあたって留意していること

- ・ 経営者の仕事は切れ目が無く、あれもこれも考え出すとキリが無い。本業が疎かにならないよう自分の中で思考を切り替えることを心がけている。

副業を通じて、「経営者の目線」も理解して仕事に取り組めるように

プロフィール

- ・ 39歳

仕事1の内容: 株式会社フューチャースピリッツ
アプリケーションエンジニアとして、自社サービスの開発・運用をおこなっている

仕事2の内容: 実家の家業支援

副業・兼業の目的

- ・ もともと、父親がおこなっていた家業を(休日のみ)手伝っていたが、父親が体調を崩し入院、本業を続けながら、より多くの家業への支援が必要となり、株式会社フューチャースピリッツの「働かない制度」(平日の業務時間中に、月間最大20時間を本業以外の時間に投入できる)を活用することに決めた。

副業・兼業のメリット

- ・ 以前は自分の本業である「エンジニア目線」、一部署に所属する「社員目線」で仕事をしていましたが、副業では、契約書類の作成や弁護士との調整など、本業とは全く違う業務内容を経験することで、一社員の目線だけでなく、経営者側の目線や視点もある程度理解しながら、広い視野を持って仕事に取り組むことができるようになった。

副業・兼業にあたって留意していること

- ・ 自分自身の副業が本業に影響しないように、業務のスケジュールを調整している。

100年人生を見据えたライフシフト

仕事とのバランスを取りながら、生涯にわたって社会貢献活動続けるために

プロフィール

- ・ 53歳
- ・ 2013年からプロボノ活動(社会貢献を行うボランティア活動)を開始

仕事1の内容: 大手通信会社

仕事2の内容:

一般社団法人ソーシャリスト21代表理事

副業・兼業の目的

- ・ 本業は、本社にいられるのは今年(2018年)まで。節目を前にした4、5年前から、人生100年時代の中で今後どう生きていくかを考えるようになり、社会貢献活動に関心。まずはプロボノ活動を始めつつ、将来的な収入面を考え、ソーシャルビジネスに関する一般社団法人を立ち上げた。
- ・ 定年を迎えていきなり新しいことを始めるのではなく、事前に準備しておきたかった。
- ・ 収入のバランスを考えながら、生涯にわたって社会貢献活動続けるための最適なポートフォリオを年齢に応じて組み替えていきたい。

副業・兼業のメリット

- ・ 本業の収入が中断しないため、リスクは0。
- ・ 社会貢献活動で生かしたスキルが、本業のビジネスでも活きる。また、これまでの本業のビジネスで培ったスキルが、社会貢献活動にも活かせる。
- ・ 本業を効率よくこなすようになったため、社会貢献活動を始める前の本業にかかった時間、成果、面白さを1とすると、今、本業+社会貢献活動にかかっている時間は1.1、成果は1.5、おもしろさは2になっている。
- ・ 本業以外にもコミュニティがある方がメンタルのバランスを保ちやすい。

副業・兼業にあたって留意していること

- ・ 本業にマイナスの影響が出ないようにすること。

人生観の実践(知見・経験の社会への還元)

プロフィール

- ・ 59歳
- ・ 2018年4月、仕事2を開始
- ・ 仕事1の前は、商社、米国企業CEOを経験

仕事1の内容: 投資ファンド

仕事2の内容: 市政アドバイザー

副業・兼業の目的

- ・ 50歳を超えたら、これまで他の人から受けてきた「恩」のようなものを、いろいろなところに還元していきたいと考えていた。
- ・ 自分の地元で市政に携わる知人たちからアドバイスを求められることが度々あったこともあり、もともと市政に関心があった。今回、今の仕事1の方は続けつつ、より積極的に市政、地方の発展支援に携わりたいと考えた。

副業・兼業のメリット

- ・ 仕事2はまだ始めたばかりであるが、自分が貢献できることがたくさんあると感じていること。
- ・ これまでの人生で得た経験や人脈が活かせること。これまで海外駐在、経営、創業支援などで培ってきたものを、地方都市にいろいろとフィードバックできると考えている。
- ・ 仕事2を通じて、これからの人生を考えるヒントを得られていること。

副業・兼業にあたって留意していること

- ・ 仕事1に支障が出ないよう、時間管理、自己管理を行っている。
- ・ 仕事1との関係で利益相反にならないようにしている。